



四万十町 ファイリング新聞

平成24年7月17日
第1号

四万十町役場 総務課
作成／法制・文書グループ

この号の内容

- 1 はじめに
- 2 今後のスケジュールなど
- 3 ファイリングシステム構築
に向けて(副町長コラム)
- 4 うちの役場もこうなります

担当者の編集日記

なるべく「読んでもらえる」紙面にしたい。
庁舎建設のニュースを作ったときも、まず
ショッパンに思ったのは
そのこと。
どうやったら関心を寄せていただけるか。コツを
書いた書籍などお持ちの方は、そっと貸してください。

文書管理の先進地視察に行くと、片付いた執務室で活き活きと働く職員の姿がありました。文書管理は、単に「文書のお片付け」ではなく仕事の流れをクリアーにして能率向上になっているのだと感じた瞬間。

副町長がコラムを書いてくださった。飛び上るほど嬉しいです。副町長、お忙しい中にもかかわらず本当にありがとうございます。(井口)

はじめに

みなさんこんにちは、総務課の法制文書グループです。

さて今年度、「ファイリングシステム」という言葉を聞いた人は何人ぐらいおいでるでしょうか。

四万十町は今年度から、段階的に文書管理の方法を簿冊管理からファイリングシステムという管理方法にシフトして参ります。これからやろうとしていることは、皆さんの協力なくして成功しません。ですから、ちょっとずつでも情報発信していきたい。協力者を増やしたい。

そういう思いで、この新聞を書くことに決めました。

今後のスケジュールなど

総務課が何をやろうとしゆうが～？ということで、簡単にご説明します。簡単に今までの流れと、これからスケジュールをご覧ください。**赤文字のところが今後の予定です。**

活動時期	活動内容
H22. 12. 27	四万十町文書管理プロジェクトチーム設置
H23. 2月～	第1～6回文書管理プロジェクトチーム会議
H23. 5/12～13	ファイリングシステム先進地視察（鹿島市）※事務局のみ
H23. 8/6	書庫燻蒸（昆虫類、菌類の防除）
H23. 8/29～31	本庁の公文書を仮書庫（若井川小）へ移動
H23. 9/5～6	廣田傳一郎氏（行政文書管理改善機構理事長）によるファイリングシステム学習会 ※全職員対象
H23. 10/20～21	ファイリングシステム先進地視察（小城市、鹿島市）※19名参加
H23. 12月	文書管理プロジェクトチーム意見集約
H24. 7. 21	新キャビネット搬入（十和、本庁2階のみ）
〃. 8. 27	導入前の管理職研修（全管理職対象）
〃. 8. 28～29	〃 専門研修（24年度導入課の全職員対象）
未定	切り替え作業 ※執務室（24年度導入課）
未定	実地指導 ※複数回

：

フォロー研修等へと、続きます…

ファイリングシステム構築に向けて（渡部副町長のコラム）

昔話で申し訳ないが、私が総務課で勤務していたころ総務課互助会新聞という新聞を発行していた。その新聞の社説に文書管理のことを少し書いたような気がして読み返してみた。

1998年4月15日発行で14年も前の話です。その内容とは、「4月から文書管理の方法も改善され、情報公開に向け一歩を踏み出ましたが、いくら機構改革をしても文書管理の方法を改善しても職員の意識改革をしなければ良くなるはずがない。情報公開で役場もガラス張りになろうとしているが、職員もガラス張りになるくらいの気概が必要。」と書いていた。

今考えると少し恥ずかしい思いもするが、14年前に取り組んだ文書管理がどうだったのかは別にして、いよいよ四万十町でのファイリングシステムの構築が始まる。

これから約10年間で100人の職員が入れ替わり、世代交代も急激に進みます。この取り組みは新しい自治体の在り方を示す第一歩です。

意識改革も含め5年間やりきりましょう。 (渡部 瞳)

うちの役場もこうなります



退庁時
机の上は
滑走路

ファイリングの大改革を実行すると、こんなふうに変わります。見た目もすっきりですが、なにより仕事が「見える化」されますので、頭の中がすっきりします。

次号へつづく…